

ダントツ行く！2

「生ごみ処理機」

イラスト◎谷口シロウ



最近気になるもの——それは「スバリ」生ごみ処理機。家族5人11匹のわが家の生ごみは量も多くて、ごみの日には大きなビニール袋いっぱい溜まるほど……いったい、全国でどれくらいのごみが出ているのか、気になるところです。

実は、2003年度に全国で排出された一般ごみは5161万トン（東京ドーム139杯分）、このうち家庭から出る生活系のごみは6割以上にのぼるとか。そうしたことから、家庭のごみ処理の有料化も進められていて、生ごみをバイオマス（生物資源）エネルギーとして再利用することも検討されているんです。各地のごみ処理場の受け入れ能力が限界にきているって聞くし、子供たちの未来のためにも、自分たちで出した生ごみくらいは、生ごみ処理機で減らしたいですよね。

でも、実は「生ごみ処理機」は環境にいいだけじゃないんです！ 最新式のものには、ごみ箱感覚でどんどん投入できるうえに、ごみの量も大幅に減って、ごみ出しの回数がうんと少なくてすむって知っていました？ しかも、多くの自治体が、生ごみ処理機

購入への助成措置を行っているのです！
うちの市でも、2万円までの助成制度があると聞いて、ワタクシのダンツ魂に火がついたというワケ。
さて、そこで迷うのが、乾燥式とバイオ式の2タイプのうちどちらを選ぶか……。

高温の熱風で生ごみを乾燥処理する乾燥式に対して、バイオ式は処理機に培養基材（チップ）を投入して、微生物に生ごみを分解させる方式。乾燥式は1日の処理量が多く、処理時間は短く、生ごみをカラカラの乾燥ごみにするので衛生的。一方、日立独自の高温バイオ式は、高温処理で従来のような基材の交換・追加が不要で、ごみ捨ては約1カ月に1度ですみます。そのうえ、処理後のごみは家庭菜園やガーデニング用の堆肥として利用できるので……！

処理中に発生するニオイも、日立の「キッチンマジック」なら、脱臭効果がとっても高いプラチナ触媒を使用しているから、ほとんど気にならないんですって。いいことづくめのキッチンマジック、さっそく購入してお隣さんに自慢しちゃおうかしら。



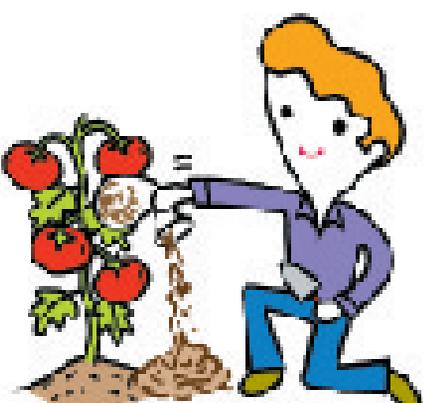
ごみ箱感覚で使える「キッチンマジック」

通称ダントツさん。首都圏郊外の戸建てに住むダントツ家の嫁、34歳の専業主婦。夫と子供2人（息子9歳と娘4歳）、おじいちゃん、イチロー（大型犬）の5人11匹家族。趣味のテニスやPTAに忙しく、料理も家事も手抜きをしたいチャッカリ主婦。



キッチンマジック ココがダントツ！（バイオ式）

従来のバイオ式の欠点はニオイ。業界初の高温バイオ式となるキッチンマジックは、高温処理によりイヤなニオイの発生を防ぐうえに、予約タイマーで1日のごみを深夜にまとめて処理できるから、日中は処理中のニオイを気にせず、ごみ箱感覚で使えます。ごみ出しはたったの月1回、バイオ剤の投入も使用開始時に入れるだけと、なんともラクチン。幅わずか22cmのスリムデザインで、キッチンのさまざまな場所にスッキリ収まります。



ココがダントツ！ キッチンマジック（乾燥式）

約140℃の熱風を効率よく循環させる背面ヒーター方式を採用。ふたにヒーターを取りつける従来のものよりも処理効率上がり、最大約2.5kg（約14人分）の生ごみを約1時間45分で一気にスピード処理。ごみ容量を1/7に減らして、2週間分のごみが溜められるのです。作動音も静かで、深夜でも気にならないから助かるワー。



室内置き生ごみ処理機
キッチンマジックECO-B25 最大処理量約2.5kg



室内置き生ごみ処理機
キッチンマジックBGD-V18 最大処理量約1.8kg